

講演会

「命育む『こうのとり』のゆりかご」の実践から」と題し慈恵病院理事長 蓮田太二氏と看護部長 田尻由貴子氏の講演にホールはほぼ満席。「日本とドイツの政策、考え方の違い」「『こうのとり』が必要だった」「ゆりかごを創ったけれど、本当は使って欲しくはない」「地域力と家庭力の回復を」「母と子どものきずなを取り戻して欲しい」とやさしく、強く語りかける言葉に多くの方がうなずいていました。



産業祭

農産物品評会 今回は130点出品。品評会終了後は即売会となり人気のコーナーです。



審査はJA熊本うさぎの営農指導員

わが家の畑で作った農産物。自慢の野菜、果物、漬け物もあります。手をかけ、心をかけて作った品々が並びました。審査結果です。(敬称略)

- 金賞・銅賞 緒方安子(榎津)
- 金賞・志垣喜久子(小岩瀬) 東家ミチ子(大町)
- 銅賞・小原ヤスヨ(榎津) 大森幸子(大町)
- 入賞・宮本春義(新) 志垣 啓(小岩瀬)
- 紫垣麗子(榎津) 小原幸馬(榎津)
- 紫垣康子(榎津) 元田スミエ(鳥場)
- 小原スズ子(榎津)

「和会(なごみかい)」の活動

産業祭に出店し餅米を販売。収益金は今後3年間の活動費として。

「かって共に汗を流した同志に義援米を送ろう！」と富合町新区の15人が集まり「和会」を結成。

7月の田植え、草刈。11月に新区子ども会と共に収穫。11月14日に餅米8俵と臼・杵を発送。仙台で11月19・20日に餅、団子、山菜おこわなどを振る舞うことが出来たとの連絡があったそうです。「まだまだ大変な思いをしている被災地に少しは元気を届けることが出来ました。ありがとうございます」と代表の福原幸一さんは話していました。



元気いっぱい きっと元気が届きますヨ

健康祭

「健康の大切さを知り、健康の輪を広げましょう」を目的に多くのコーナーを用意。新企画の「健康チェックコーナー(検尿・血圧測定・血糖検査)」には65人が参加。骨密度測定コーナーには166人。歯の健康コーナーは58人、筋力アップコーナーは24人など多くの参加がありました。



歯の大切さは子どもの頃から



各地域での活動こそ一番では



私の今をしっかりと



年前のオープニングは
富合小学校器楽部演奏



園児の絵画展 人気でした



年後のオープニングは
県立熊本農業高校 太鼓演奏